

Ⅲ 文 化 活 動 の 状 況

ここでは、市民会館、公民館、図書館及び体育館を除く、社会教育の諸活動を述べます。この分野には、社会教育全般の事務と、文化財関係、青少年問題協議会関係の事務、事業があります。

1 奨励、援助

市民の皆さんの行う社会教育の諸活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行った。

(1) 社会教育関係団体の状況

分類	団 体 名	責 任 者	会員数	組 織 及 び 活 動
少年 団 体	ボーイスカウト 福生第1団	天 田 文 雄 (本 町 2) 5 1 - 1 5 7 1	308	○ 育成会 団委員会 カブスカウト - ボーイスカウト シニアスカウト ○ 舎営、キャンプ、団運営会議、指導者養成 ○ 隊活動等
青年 団 体	福生市青年団体 連絡協議会	伊 東 静 一 (福 生 1226) 5 1 - 4 4 3 4	200	○ 加盟サークル10 ○ 定例会 宿泊研修会 ○ サークル対抗スポーツ大会 ○ 単位サークル発表会等
婦人 団 体	福生生活学校	天 田 君 子 (本 町 2) 5 1 - 1 5 7 1	105	○ 第一、第三生活学校 ○ 定例的学習活動
成人 団 体	福生市文化連盟	森 田 潤 三 (熊 川 858) 5 1 - 5 4 1 8	2,000	○ 単位サークル74 ○ 役員会 文化祭 文化教室 ○ 単位サークル活動助成 ○ " 発表会
	福生市文化財 調査会	森 田 潤 三 (同 上)	20	○ 福生市文化財に対する基礎研究 ○ 福生における小名等について
	福生螢保存会	田 中 達 治 (南田園3-13-6)	30	○ 上水のホテル及びホテル公園のホテルの保護育成
	福生市PTA 連 合 会	小 林 昭 (熊 川 505) 5 1 - 1 3 6 0	6,800	○ 単位PTA(8) ○ 連合会 ソフトボール大会 研修会

(2) 援助の状況

ア 人的援助

各団体の会議、主催活動に必要な助言、指導、援助等に職員、講師、助言者等の派遣、紹介を行った。

イ 施設の利用

施設の利用状況は各機関ごとに集計

ウ 事務援助

印刷事務等、文化財関係団体、社会教育関係団体、青少協地区委員会等

エ 補助金

社会教育関係団体のうち、次の5団体に対して207万円を交付

ボーイスカウト福生第1団、青年団体連絡協議会、福生市文化連盟、福生市体育協会、福生市小、中学校PTA連合会

2 主催事業、活動

(1) 委員会、会議

ア 社会教育委員会

社会教育全般にわたる調査、研究、計画の立案、教育委員会からの諮問に答える答申を、教育長を通じて教育委員会に市民の立場から行う諮問機関です。本年度の委員会の会議の内容は次のとおりです。

昭和53年4月21日 午後2時30分

① 社会教育施設について

② その他

5月 9日 午後1時30分(国分寺)

① 社会教育委員連絡協議会総会

6月 7日 午後2時

① 社会教育関係団体に対する補助金の交付について(答申)

② その他

8月10日 午後2時(国立)

① 昭和53年度事業計画の実施について

② ブロック研修について

9月 5日 午後1時30分(秋川)

① 第1ブロック研修会について

② 東京都市町村社連協負担金の増額について

10月20日 午後1時30分

- ① 議長、副議長及び委員長、副委員長の選任について
- ② 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1ブロック研修会について

10月24日 午後1時(秋川)

- ① 社会教育の諸条件を整えるためにという主題に基づき社会教育施設と職員体制について

54年1月28日 ~ 1月29日

- ① 社会教育委員視察旅行

3月26日 午後1時30分

- ① 昭和54年度社会教育事業計画について

イ 文化財専門委員会議

市内の文化財の保存及び活用に関して教育委員会の諮問に答え、又は意見を具申する。

昭和53年5月31日(水) 午後7時

- ① 文化財専門委員会議、正副議長の選出
- ② 熊川神社本殿の市重宝指定について

昭和53年11月1日(水) 午後7時

- ① 昭和52年度文化財保護事業の報告

昭和54年3月26日(月) 午後7時

- ① 市文化財保護条例の改正について
- ② 昭和54年度文化財保護事業計画について

＊

文化財専門委員、欠員の補充 昭和53年4月27日

二 名	新	井	勝	紘	氏
	木	村	龍	生	氏

諮問第2号

福生市文化財の指定について

上の諮問を提出する。

昭和53年4月27日

福生市教育委員会

委員長 来住野 元 一

福生市文化財の指定について

福生市文化財保護条例第7条の規定に基づき、福生市文化財の指定について福生市文化財専門委員会議に別紙調書を添付し、次のとおり諮問するものとする。

1 熊川神社本殿 市重宝

附 棟札三枚

慶長2年の記のあるもの 1

正保3年の記のあるもの 1

寛文11年の記のあるもの 1

昭和 5 3 年 6 月 7 日

福生市教育委員会

委員長 来住野 元 一 殿

福生市文化財専門委員会

議長 森 田 潤 三

福生市の文化財指定について（答申）

昭和 5 3 年 4 月 2 7 日付け、福教社発第 1 2 9 号で諮問のあったこのことについて、次のように答申します。

1 熊川神社本殿 市重宝（建造物）

福生市熊川 6 6 0

所有者 宗教法人 熊川神社

代表責任者（宮司） 野 口 泰 道

附 棟札三枚

（ 慶長 2 年の記のあるもの
正保 3 年の記のあるもの
寛文 11 年の記のあるもの

ウ 公民館運営審議会

審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する諮問機関です。

本年度の審議会の会議の内容は次のとおりです。

昭和53年4月13日

① 昭和53年度公民館管理運営計画について（答申）

4月21日 午後2時30分

① 社会教育施設見学

② その他

10月20日 午後1時30分

① 公民館運営審議会委員の委嘱について

② 議長、副議長及び委員長、副委員長の選出について

③ 第9回福生市民文化祭について

④ 公民館主催事業について

昭和54年3月26日 午後1時30分

昭和54年度会館管理運営計画について

① 昭和53年度状況及び54年度計画

② 昭和54年度公民館実施計画

③ 公民館運営審議会委員の委嘱について

エ 福生市青少年問題協議会

青少年問題協議会は、市長の付属機関であり青少年問題に関する総合的施策の樹立について調査審議し、関係行政機関相互の連絡調整を図り、関係行政機関に意見を述べるための組織です。

青少年の非行防止対策で全市的な運動については、昭和53年度も青少協で実施しました。

昭和53年度の協議会の会議内容及び青少年対策事業はつぎのとおりです。

昭和53年5月8日

幹事会

・家庭の日の推進について

・昭和53年度青少年関係の実施事業

・昭和52年度地区活動の報告

5月9日

地区委員長会

・家庭の日の推進について

・昭和52年度地区活動のまとめ

6月26日

幹事会

・一声運動について

・関係機関の夏季施策について

- ・青少年問題モデル地区の設置について
- 6月30日 地区委員長会
 - ・一声運動について
 - ・関係機関の夏季施策について
 - ・青少年問題モデル地区の設置について
- 7月10日 協議会
 - ・一声運動について
 - ・関係機関の夏季施策について
 - ・青少年問題モデル地区の設置について
- 7月19日 地区委員長会
 - 一声運動の展開について
 - 1) 運動の期間・・・7月～8月（夏休み中）
 - 2) 一声運動の推進の手びきを関係者に配布
 - 3) 広報車による宣伝、立看板、広報お知らせなどによるP・R
 - 4) 各種会合で一声運動への協力依頼
- 7月24日～25日 一声運動のP・R
 - 広報車により市内全域を巡回
- 8月14日 東京都市青少年対策連絡協議会Aブロック研修会
 - 青少年の健全育成に伴う行政側から一般市民に対する啓発活動の現状と将来
- 10月5日 幹事会
 - ・一声運動の反省について
 - ・不健全図書追放運動について
- 10月6日 地区委員長会
 - ・一声運動の反省について
 - ・モデル地区の活動経過
 - 五小地区・・・南・内出・熊川住宅
 - 四小地区・・・加美1, 2 永田 長沢1, 2
 - 期間 昭和53年7月21日～9月30日
 - 主な事業・・・多摩川の清掃、非行防止パトロール、映画会、花火大会、夏休み反省会など
- 11月9日 青少年指導者研修会 豊かな地域環境づくりと青少年活動（府中）
 - 講師 渡辺博史氏（流通経済大学教授）
- 11月13日 協議会
 - ・一声運動の反省
 - ・不健全図書追放運動について

- 11月17日 地区委員長会 ・不健全図書追放運動の展開について
- 1) 運動の期間… 11月中旬～12月
 - 2) 要項及び手びきを関係者に配布
 - 3) 広報車による宣伝、広報、お知らせ、立看板によるP・R
 - 4) 土地貸付者及び設置者への協力をお願い
 - 5) 実態調査
 - 6) 各種会合でのP・R活動
- 11月28日～29日 不健全図書追放運動のP・R
- 広報車により市内全域を巡回
- 12月 5日 青少年指導者研修会 福生市公民館
- 映画… 青少年に良い環境を(企画 東京都)
- 明日の太陽(企画 和歌山県同和委員会)
- 講演… 子供のための地域づくりと子供組織
- 講師 白井 慎氏(法政大学教授)
- 青少年問題と同和問題
- 講師 川村善二郎氏(東京経済大学講師)
- 2月 8日 幹事会 ・不健全図書追放運動について
- ・昭和53年度青少年事業のまとめ
 - ・昭和54年度青少年事業計画について
- 2月16日 地区委員長会 ・不健全図書追放運動について
- ・昭和53年度青少年事業のまとめ
 - ・昭和54年度青少年事業計画について
- 2月26日 協議会 ・不健全図書追放運動の反省について
- ・昭和53年度青少年対策事業のまとめ
 - ・昭和54年度青少年対策事業計画について
- 3月 2日 青少年問題講座「非行を考える」全五回 福生市公民館
- 参加者延べ95人
- 講師 千 田 夏 光 氏(性的非行の著者)
- 土 井 洋 一 氏(大正大学助教授)外
- 3月2日 いま子どもたちは 9日 非行の現状
- を考える 16日 非行と家庭 23日 こどもと人

権 30日 非行をのりこえるために

3月19日 青少年指導者研修 最近の少年非行の特色について

講師 岩 佐 寿 夫 氏(世田ヶ谷少年センター)

地区委員対象 福生市公民館 参加者53人

昭和53年度青少年問題地区委員会の主な事業

地区名	委員数	児・生徒数	地区活動の主なもの
熊川住宅	11	338	映画会 花火大会 キャンプファイヤー 落花生堀り
南	25	109	映画会 多摩川の清掃 花火大会 春秋の交通安全運動
内出	18	153	映画会 多摩川の清掃 交通安全パトロール 歩け歩け運動
武蔵野	24	150	自転車講習会 ラジオ体操 防犯パトロール もちつき大会
福東	13	269	ハイキング ソフトボール大会 鉄道博物館見学 クリスマス会
鍋1	25	384	熊川公園清掃 交通安全日交通整理 夏休み子供会
鍋2	24	358	球技大会 ゲーム大会 親子球技大会 お楽しみ会
玉川台	25	49	花火大会 金魚すくい ビクニック
富士見台	12	187	親子懇談会 将棋大会 ラジオ体操 バーベキュー大会
福栄	23	277	ハイキング 小運動会 野外料理 ラジオ体操 カルタ大会
熊牛	13	368	青少協ニュース発行 親子映画会 町内体育祭
牛1	20	175	交通パトロール いも堀り ドッチボール大会 クリスマス会
牛2	25	255	ハイキング 親子球技大会 クリスマス会 新春風上げ大会
原ヶ谷戸	19	305	盆踊り大会 非行防止パトロール バーベキュー ハイキング
志茂1	24	180	交通安全運動 ボーリング大会 奥多摩河原の野外活動
志茂2	27	192	スケート ハイキング バーベキュー大会 フォークダンス ゲーム大会
永田	7	95	ソフトボール大会 バーベキュー大会 柳山公園清掃
長沢1	18	66	花火大会 キャンプ 親子運動会 クリスマス会
長沢2	22	97	
加美1	16	66	いも堀り 夜間パトロール 肝だめし もちつき 球技大会
加美2	24	313	映画会 肝だめし 運動会 もちつき大会 球技大会
本町1	13	54	盆踊り いも堀り 七夕パトロール 運動会
本町2	23	41	町内非行防止パトロール 不良化防止懇談会
本町3	24	29	防犯パトロール キャンプ いも堀り バーベキュー
中央	13	65	交通安全運動 ソフトボール大会 研究・コーラス発表会
本町6	24	104	盆踊り大会 金魚すくい ハイキング 防犯パトロール
本町7	25	315	交通安全講習会 盆踊り大会 いも堀り大会
本町8第1	17	530	水泳大会 ボーリング大会 春・秋の交通安全運動
本町8第2	20	284	春・秋の交通安全運動 夏の昆虫採集 クリスマス会
加美平住宅	12	627	青空コンサート 運動会 ソフトボール大会 新春子供大会

3 文化財保護事業

(1) 文化財保護行政の役割と現況と目標

未来への指針として、私たちの祖先の残した文化遺産を活用するため、またそれらを後世に伝承するために必要な保存及び活用等の措置を講じ、市民の文化的向上に資するとともに、我が国の文化の進歩に貢献するといった、行政の役割は、文化財保護法に記されているとおりである。

1970年代の急激な地域変貌は、有形、無形の文化財の破壊をもたらしました。特に、人々の生活の変化にともない民俗的文化財は消失が著しく、また、埋蔵文化財、自然の破壊も急であつたと言えよう。本市においては、昭和48年に文化財保護条例が制定され、以後8件12点の文化財指定を行い保存するとともに、福生市文化財総合調査体制を発足し、植物、考古、民家、文書、民俗の各調査を実施してきている。

今後、益々進むと思われる都市開発、生活様式の変化、伝承者の消失に対処するため、文化財の所在確認、記録化を早急に進め、資料の収集保存と併せて実施する必要がある。また、国民の共通の財産である文化財は、市民一人一人の保護意識の確立が必要である。そのためには、文化財保護思想の普及啓蒙活動を併せて実施する。

郷土、文化の正しい理解と認識、自然の正しい理解と認識は将来の地域文化向上発展の基礎をなすものである。

(2) 文化財事業方針

文化遺産を市民とともに保護保存するなかで、市民自身によるそれらの活用のための学習意識、学習活動に対して様々な援助活動を行う。

文化財保護行政を推進するために、教育委員会事務局として行うべき条件整備を確立する。

- (1) 市民に対する文化財保護思想の啓蒙普及をはかる。
- (2) 貴重な文化財を指定して保存する。
- (3) 文化財の調査研究の充実をはかる。
- (4) 調査研究成果は刊行し公表する。
- (5) 自然保護の充実をはかる。
- (6) 市民及び団体に対する奨励援助をすすめる。
- (7) 文化財資料の収集保存を行う。
- (8) 博物館構想の策定と活動計画を策定する。
- (9) 博物館教育普及活動用資料の収集と採集及び製作を行う。
- (10) 担当部局内における文化財保護行政事務等のシステムの整備を行う

(3) 昭和53年度 文化財保護事業の活動状況

① 文化財総合調査事業の実施状況

(ア) 民俗調査(生業、諸職、民具)

調査員 川鍋幸三郎(1中教諭) 加藤策夫(2小教諭) 常民研究会(木村龍生、塚本利昭、中島信明、桜井清美、伊藤鉄也、福原敏男、藤塚悦司)(以上敬称略)

調査対象者(被調査者)

木村源次、細谷市蔵、井上誠三、田村治一郎、清水平八、設楽真一、八巻一弥、細淵勘次郎、横田寿照、佐藤正一、児島勇吉、田中達治、小山重一、野島為一、井上東一、田中清松、野島治三郎、田村 信、野島ハマ、設楽美和、渡辺継二郎、清水延一、石川繁治、細谷勝雄、野島俊三、野崎 博、笹本正夫、田村富十郎、齊藤菊三、石川シカ、山崎勘次郎 (以上敬称略)

調査日程 4月13日、16日、23日、5月18日、20日、23日、26日、28日、6月3日、9日、14日、15日、16日、17日、25日、7月29日、30日、8月22日、23日、24日、25日、26日、27日、10月2日、4日、6日、7日、8日、13日、14日、11月25日、12月20日、21日、23日、25日
その他、会議、資料作成等の日程を省く。

(イ) 文書調査

調査員 福生古文書研究会(高崎勇作、峰岸秀雄、立川愛雄、加藤有孝、宮田 満、柳 喜久子)
北原 進(立正大教授)、二見道子、佐藤寿子、内田 (以上、東女大学生)
(以上敬称略)

調査文書 石川元八家文書、熊川神社所蔵文書

調査日程 5月3日、4日、5日、6日、7日、3月24日、25日
その他、資料作成等の日程を省く。

(ウ) 植物調査(草本類調査)

調査員 宮岡一雄(文化財専委)、栗原 仁(5小教諭)、増岡一夫(4小教諭)、茂山吉秀(小教諭)、滝上泰男(武蔵村山3中教諭)、福地 亨(檜原小教諭)、大串暉子(五日市中教諭)(以上敬称略)

調査地点 多摩河原

調査日程 7月29日、8月12日、26日、9月9日、16日、10月7日、14日、

21日、12月2日、3月26日、28日その他資料作成等の日程を省く。

(㌦) 地質調査(地質、地形、古環境)

調査員 武南 馨(都立福生高校教師)

徳永重元(日本花粉学会会員)、丸 賢一(日本花粉学会会員)、大島秀明
(日本花粉学会会員)、伊藤良永(日本地質学会会員)(以上敬称略)

調査日程 5月14日、15日、6月17日、18日、7月23日、30日、8月2日、
5日、9日、12日、16日、19日、23日、25日、26日、9月17
日、24日、10月10日、11日、11月5日、6日、12月3日 その
他、会議、資料作成等の日程を省く。

(㌧) 石造遺物調査

市内にのこる文化遺産としての石造遺物を記録として保存するため、その所在確認調査
を市民参加によって行おうと計画し、53年10月より学習会を開催した。

本年度は、54年度以後の本調査に向けての予備段階として学習会を開催した。

10月21日(土)

調査会の発足と今後の方針等について

11月18日(土)

石造遺物についての学習

12月3日(日)

講師 石川博司氏

「石仏の調べ方、多摩の石仏について」

② 報告書等の刊行事業

(㌦) 「福生市の地質」54年3月刊行

昭和53年度実施の福生市文化財総合調査、地質調査班の調査結果である。

(㌧) 「福生市の植物調査-樹木、竹類」54年3月刊行

昭和49年度より実施した福生市文化財総合調査、植物調査班の“樹木・竹類”調査
の結果である。先に(昭和50年度)刊行した中間報告に続くものである。

③ 文化財の指定

(㌦) 市重宝 熊川神社本殿附 棟札三枚(福生市熊川660番地)

見世棚式の流れ造り神社本殿として、規模大であり、簡素な形式の中に力強い造形を見
せ、かつて奥多摩地方に古様式として盛行したと推定される同形式の遺構中で現存するも
のとしては、もっとも年代の古い代表的な遺構であり、文化財として指定保護する必要が
ある。

指定年月日

昭和53年7月11日

④ 文化財資料等の収集保存事業

(ア) 民具等の寄贈依頼状の発送

昭和53年11月、市内の農家台帳記載家庭311軒に対し、民具等の寄贈を依頼した。

また、市広報紙にて、市民に呼びかけを行った。

寄贈依頼に対する寄贈申し出家庭17軒内1軒については収蔵を行ったが他の16軒は
54年4月以降、収集の予定。

その他、民俗調査の協力家庭からの資料寄贈等がある。

(イ) 寄贈者及び資料

渡辺 治衛	養蚕用具等
後藤 福造	民具等
篠宮 良平	漁具等
清水 良男	写真資料
巻田 正作	地質資料
内田 文男	養蚕用具
井梅 伊助	民具等
細渕勘次郎	御神酒の口
長沢2町会	膳、碗用具
長 梅 組	膳、碗用具
沢井 貞興	民具等
中野 栄吉	新聞(昭和23、24年)
荒田 貞次	衣服
峰岸 秀雄	漁業資料

(以上敬称略)

⑤ 奨励、援助等

福生市文化財調査会、ホタル保護研究会、福生古文書研究会その他、市民、機関等に対する情報の提供、印刷援助等の諸活動を行った。

⑥ 資料館建設のための活動

(ア) 他市町村等先進館の見学

埼玉県立歴史資料館、町田市立博物館、青梅市立郷土博物館、調布市立郷土博物館、八王子市立郷土資料館、瑞穂町立郷土資料館、府中市立郷土資料館、たばこと塩の博物館、

奥多摩郷土資料館、大田区博物館準備室等を見学し、指導・助言を得る。

(f) 展示計画の作成

資料館展示室における常設展示計画の作成

「資料館の展示計画について」

⑦ 福生市文化財保護条例、同施行規則の改正

文化財保護法、都文化財保護条例の改正にともない、昭和54年3月定例福生市議会において全文改正。

⑧ 文化財保護思想の普及啓蒙事業

(f) 古文書講座（初心者対象）

自らの手で、自ら手づくりで、ものを創造していくこと、これが文化の中央集権化に対抗して、中央文化の隙間をうめる方法である。云々

草むらの中から、足もとからものをつくりかえていくという思想。それが支えになって足で歩いて書くレポートをつくる。そのような出版物は、たいいていの場合、庶民の語りをきき、それを裏づけるための市町村の文書をひもとき、さまざまな裏づけ調査をしている。そのような血のかよった郷土資料づくり、それが自腹を切って行われる自費出版であろうとなかろうと、きわめて大切な文化創造のあり方ではなかろうか。云々

芳賀 登著「郷土資料とは何か」（「郷土資料の活用」地方史マニュアル4 柏書房）より

この講座は、自分の住んでいる土地の歴史を自分で調査研究するための一助となるよう開催するものです。

期 間 昭和53年5月10日より、昭和54年3月14日まで

毎月第2・4水曜日 午後7時20分より9時20分まで

講 師 北 原 進 氏（立正大学教授）

会 場 扶桑会館

開催状況

5月10日 古文書入門、津軽家領知目録、徳川家綱朱印状

24日 古文書演習1、御水帳、名寄帳の読解

6月14日 古文書解釈1、御水帳、名寄帳について

28日 演習2、村法度、組合議定の読解

7月12日 解釈2、村法度、組合議定について

26日 演習3、宗旨改帳、宗門人別帳の読解

8月 9日 解釈3、宗旨改帳、宗門人別帳について

8月23日	演習4、村入用帳の読解
9月13日	演習5、村明細帳の読解
27日	解釈4、村入用帳について
10月11日	解釈5、村明細帳について
25日	演習6、年貢可納割付の読解
11月8日	解釈6、年貢可納割付について
22日	演習7、畠地売渡証文、小作証文の読解
12月13日	解釈7、畠地売渡証文、小作証文について
1月24日	解釈8、金子借用証文、為替手形について
2月14日	解釈9、寺請証文、関所通行手形について
28日	演習8、地方文書の読解
3月14日	地方史研究のあり方
全19回開催 参加者数(延べ285人)	

(1) 民俗学教室(村の生活と規範を考える)

民間の習俗として定期的になされた行事の意義を上層社会における年中行事によって説明することのできる場合もある。しかし、その多くは一般民衆の信仰生活を基盤としているものであったから、そこに重点を置いて考えてみるのが肝要である。春、夏、秋冬のうつりかわりが、わりあいはっきりしている日本の風土。それを背景として定着した農耕生活。そして、そこから導き出された素朴な信仰。それらの永い年月にわたるかわりあいを踏まえて、民俗行事が、名もなき一般民衆の年中行事として育てられてきた経緯を理解しなければならない。

祝 宮静 著「日本の民俗行事」(桜楓社)より

期 間 昭和53年5月18日より、昭和54年3月18日まで

毎月第3木曜日 午後7時30分より9時30分まで

講 師 河 上 一 雄 氏(都立富士高校教諭)

会 場 扶桑会館

開催状況

5月10日 “民俗と民俗学”

(1) 民俗とは何か (2) 民俗学の目的と方法

6月22日 “社会伝承”

(1) 村落構成 (2) 年齢集団 (3) 講集団 (4) 家と家族

7月6日 “親族と同族”

7月13日 “経済伝承”

- (1) 農業 (2) 漁業 (3) 林業 (4) 諸職 (5) 労働
(6) 衣・食・住

9月28日 “儀礼伝承”－人生儀礼(通過儀礼)－

- (1) 産育 (2) 婚姻 (3) 葬送

10月19日 “年中行事”

- (1) 正月 (2) 2月 (3) 3月 (4) 4月 (5) 5月
(6) 6月 (7) 7月 (8) 8月 (9) 9月 (10) 10月
(11) 11月 (12) 12月

11月16日 “植物と民俗”

- (1) 俗信－民間医療－ (2) 植物禁忌

12月14日 “民俗芸能と昔話”

- (1) 神楽 (2) 田楽 (3) 風流 (4) 人形芝居 (5) 地芝居
(6) 門付け芸 (7) 昔話 (8) 民謡 (9) 故事

1月28日 “民俗調査の方法”－聞き取り調査の実習－

話者 熊川南 関 四郎さん

3月4日 “民俗調査の方法”－聞き取り調査の実習－

話者 加 美 伊東寿一さん

3月18日 “民俗調査の方法”－聞き取り調査の実習－

話者 長 沢 田村富十郎さん

全11回開催 参加者数(延べ154人)

(ウ) 婦人の歴史教室

地域の歴史・風土を正しく理解、認識するには、広く日本の歴史・風土・文化を理解する必要があります。

テレビ等のマスコミからもたらされる多くの歴史ドラマ・歴史小説、それは歴史の真相とどうかかわっているのでしょうか。

私達にとって、歴史を正しく理解することは、私達の未来・将来を正しく予測することの必須条件ではないのでしょうか。

期 間 前期 昭和53年5月1日より10月2日まで

後期 昭和53年11月6日より昭和54年3月5日まで

講 師 宇田川武久氏(国学院大学講師)

会 場 扶桑会館

開催状況

前	期	「近世の日本の歴史」
5月	1日	“鎖国時代の日本－流人近藤富蔵－”
6月	5日	“封建道徳と日本人－仇討について－”
7月	3日	“享保の改革－大岡越前守忠相から－”
9月	4日	“近世の内と外－漂流について－”
10月	2日	“近世の商業－海商銭屋五兵衛－”
後	期	「史料と歴史事実」
11月	6日	“武将の性格－信長と秀吉の手紙－”
12月	4日	“戦国の家と人－毛利元就の書置－”
1月	29日	“つくられた歴史の虚像－瀬戸内の水軍－”
2月	5日	“歴史の実像－前期倭寇と海賊－”
3月	5日	“戦国大名の家臣団編制－水軍からみた－”
全10回開催		参加者数(延べ175人)

(c) 子供の考古学教室

私達の生活している福生市に、いつごろから人間があらわれたのか君は知っていますか。
現在、私達のまちには、たくさんの家が建ち、たくさんの人が生活していますが、今から30年位前は、まだ、畑や雑木林の多いまちでした。もっと昔、5千年前、1万年前、福生はどんな所だったのでしょうか。その頃の人々は何を食べ、どんなくらしをしていたのでしょうか。

現在、市内には、大昔の人々の生活のあとだろうといわれる場所が16ヶ所あります。そこには、私達の遠い祖先の原始人が使った道具である、石おのや土器を発見することができます。それらを日本の他の地域のものとくらべたりすることによって、私達の祖先の生活が少しづつわかってきます。

期 間 昭和53年5月13日より

指導者 塩野半十郎氏(羽村町羽ケ田上山根坂上遺跡発掘調査団顧問)社会教育課職員

会 場 市民体育館内会議室他

開催状況

5月	13日	“原始時代の福生と人々のくらし”
6月	3日	“縄文時代のくらしと道具”
6月	17日	“羽村町羽ケ田上山根坂上遺跡発掘の見学”
7月	8日	“縄文人と生活”

- 7月21日 “ 井戸尻遺跡・井戸尻考古館の見学 ”
- 8月16日 “ 平塚市立博物館の見学 ”
- 8月17日 “ 縄文式土器について ”
- 8月18日 “ 縄文式土器について ”
- 8月22日 “ 縄文式土器の製作 - 施文用具作りと粘土作り - ”
- 講 師 塩 野 半 十 郎 氏
- 8月23日 “ 縄文式土器の製作実習 ”
- 講 師 塩 野 半 十 郎 氏
- 8月29日 “ 土器の野焼き ”
- 講 師 塩 野 半 十 郎 氏
- 9月20日 “ 教室の修了式と反省会 ”
- 全12回開催 参加者数(延べ420人)

(4) 市内の文化財散歩

市役所を出発し、電話局のところを下り、左に折れ、玉川上水にかかる清岩院橋を渡ると左側に若山牧水夫人の歌碑がある、松原庵があります。その先の中福生交番を右に入り、しばらくすると清岩院の山門に出ます。このお寺は応永元年に開基(＝開山・・・新しくお寺を創立)した古刹(＝こさつ・・・ゆいしょある古いお寺)で庭園もよく整理され、門前に一石一字経塔、法華塔、境内には弁天堂とめずらしい車地藏があります。

ここを右に出て約10分、交通のはげしい都道を左にまがると永田橋に出ます。橋の手前を右に折れ、静かな道に入ると、多摩川に臨んで関上神社がひっそりと残っています。

この神社は、昔、多摩川が洪水の時に流れついた神を水路守護の神様として祭ったといわれます。

静かな旧村のふんいきをもったこの道をさらに進むと、右手に古い赤煉瓦の煙突が見える大きな屋敷があります。ここは現在は酒造場ですが昔は高札場(おきてやきまりを記し人目をひくために板札を高くかかげた場所)があったところです。左には長徳寺があります。整った境内と建造物は市内に残る大きな寺の一つであることを物語っています。

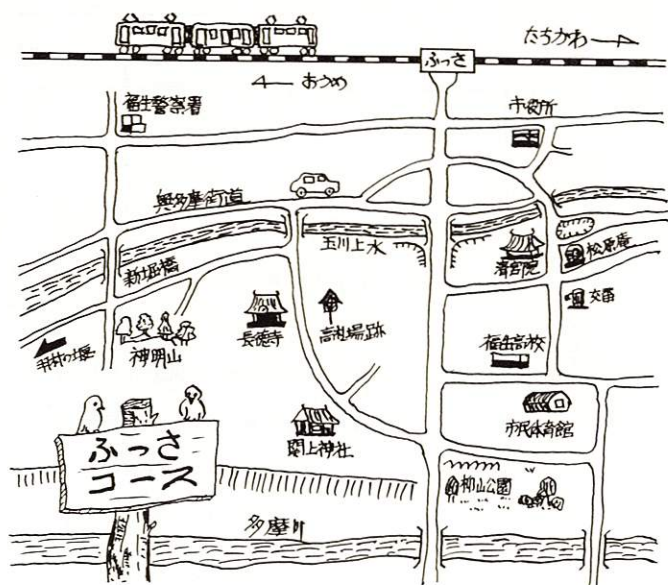
長徳寺をあとに、宮本橋から羽村の堰(せき)に出る細い砂利道に入ると雑木林の緑の中から野鳥のさえずりが聞こえてきます。上水の流れと雑木林は武蔵野の面影を忍ばせます。

新緑のトンネルを新堀橋まで歩く途中に左に神明山と呼ばれる小高い丘があります。

雑木林の間をぬって神明山にのぼるとその下に、玉川上水の古堀跡がひっそりと残っています。

新堀橋をすぎると羽村町です。玉川上水取入口まであとひといき。羽村の堰でゆっくり休めます。

帰りはもとの道をもどって
柳山公園をぬけるコースや、
多摩川を渡って浅間尾根をと
おり、12支点、草花丘陵と
くだって永田橋に出るコース
もよいでしょう。



日 時 昭和53年12月3日(日)午前10時～午後4時

講 師 石 川 博 司 氏

会 場 扶桑会館 市内

午前中 講演「多摩の石造遺物」

午 後 市内の石造遺物を中心とした文化財散歩

参加者数 13人

4 大 会

第9回 福生市民文化祭(基本要項)

1. 趣 旨
 - (1) 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場をつくり、今後の発展を期待するとともに
 - (2) 未参加者の文化諸活動への参加、各種活動への生成を促す。
2. 主 催 福生市 福生市教育委員会 福生市文化連盟
3. 実行組織 実行委員会
 - 構 成
 - (1) 文化連盟役員
 - (2) 出展、出演団体の代表者
 - (3) 教育委員会社会教育課、市民会館、公民館職員
4. 期 日 11月3日 4日 5日 11日 12日
5. 場 所 展示関係 市民会館 公民館 福祉会館 演示関係 市民会館 大、小ホール

6. 実施内容 種目数については、ほぼ前年通りとする。

プログラム

分 類	日	種 目	時 間	会 場	内 容	主管団体

開場式を11月3日(金)に行う 時 間 午前 9時30分
会 場 公民館小ホール

7. 運営方針 (1) 全般的事項(開場式他)は主催者が担当する。(別紙)

- (2) 全般的事項以外は主管団体が処理する。

ア 同種のものについては、主管団体が相互に協力して実施する。

イ 個人及び団体の一般からの出展、出演については既に主管団体があるものはその団体が、種目のない団体はその団体が主管し、個人は教育委員会が主管する。

8. 参加内容の限定

- (1) 市民の活動であること。
(2) 市民を対象とした文化的事業であること。

9. 参加募集 全市民(個人及び団体)とし、1人1点に限定する。

第9回 福生市民文化祭(全般的事項)

1. 全般的事項

- (1) 基本要項の決定
(2) 開 場 式 関 係 11月3日(金)午前9時30分
(3) 準 備 過 程

ア 広 報 (ウ) 公 募 ○9月15日広報(申込方法)

○申込締切 9月25日(別様式)

- (イ) 日程内容の周知

○広 報 10月15日 広報

10月25日 お知らせ

○ポ ス タ ー 10月 1日から150部

○日程表の配布 10月初旬

小,中学生及び主管団体 6,000枚

ウ) 総合プログラムの作成と配布 2,500部

申込書に原稿(別に指定する様式)をそえて9月25日までに提出

イ 案内状 招待者(プロと一緒に)

主管団体毎の招待は、各団体で行う。

ウ 主管団体必要物品

ウ) 指定様式に記入提出 10月中旬

イ) その他の必要品

エ 役員委嘱 役員構成

オ 委託料の交付

2. 準備会

(1) 基本要項の打合せ 9月8日午後7時30分 福祉会館ホール

(2) 準備委員会

ア 基本要項 全般事項の確定

イ 出品、出展関係 申込書他手続き打合わせ

(3) 実行委員会 ① 10月2日午後7時30分 公民館第4,5集会室

② 10月26日

最終準備打合わせ 全申込者(個人含む)

第 9 回 福 生 市 民 文 化 祭

日 程 表 1 (展 示 関 係)

・展示日 11月3日 4日 5日

・時 間 10時から午後5時まで

日	種 目	会 場	主 管 団 体
3 日	美 術 展	会 館 展 示 室	福生美術同好会
		会 館 第 3 集 会 室	福生美術研究所
		” 3 階 ロ ビ ー	くまがわ絵画教室
5 日	編 物 ・ 手 芸 展	会 館 第 3 集 会 室	彩 光 会
		福 社 会 館 和 室	多摩水墨画会
			堂田編物手芸会
5 日	日 本 人 形 展	会 館 音 楽 室	パッチワーク愛好会
		”	酒井人形教室
		”	霧の音俳句
5 日	俳 句 ・ 短 歌 展	福 社 会 館 第 一 会 議 室	福生短歌会
			友野手芸教室
			恵フラワードesignスクール
5 日	フ ラ ワ ー 展	福 社 会 館 第 一 会 議 室	くみひも同好会
		” ク ラ ブ 室	J M ミシン刺しゅう研究会
		会 館 第 4 , 5 集 会 室	福生華道会
5 日	華 道 展	福 社 会 館 ホ ー ル	祥亭書塾
			さつき書道会
			仙道書道会
5 日	書 道 展		蒲公英書道会
			多摩書道会
			静心書学会熊牛支部
5 日	写 真 展	会 館 第 4 集 会 室	山崎書道教室
		会 館 美 術 室	井上書道教室
		”	福生写友会
5 日	陶 芸 展	”	陶芸グループやこう会
		”	市民文化教室
		”	”
5 日	木 彫 展	会 館 第 8 集 会 室	福生市文化財調査会
		福 社 会 館 第 二 会 議 室	消費者展実行委員会
		会 館 前 庭	多摩秋盛会
5 日	ス ク リ ー ン 印 刷 展	会 館 第 1 , 2 集 会 室	福生盆栽同好会
		福 社 会 館 ロ ビ ー	福生さつき愛好会
		” 視 聴 覚 室	市立図書館
5 日	文 化 財 展		
5 日	消 費 者 展		
5 日	菊 花 展		
5 日	盆 裁 展		
5 日	さ つ き 展		
5 日	絵 本 原 画 展		

・会場欄の会館は、市民会館、公民館です。

日 程 表 2 (演 示 関 係)

・ 演 示 日 1 1 月 3 日 4 日 5 日 1 1 日 1 2 日

日	種 目	時 間	会 場	主 管 団 体
3 日 (金)	開 場 式	9:30	小 ホ ー ル	本 部
	御 茶 席	10:00 ~ 15:00	第 6 ・ 7 集 会 室	福生茶道会
	合 唱 と 管 弦 楽 アンサンブル	10:00 ~ 12:00	大 ホ ー ル	福生市吹奏楽愛好会 市民コーラス 子どもコーラス
	民 踊	13:00 ~ 17:00	"	福生市民踊連盟
	詩 歌 ・ 吟 詠	10:00 ~ 17:00	小 ホ ー ル	福生市吟詠連盟
	市 民 将 棋 大 会	"	福 祉 会 館 大 広 間	日本将棋連盟福生支部
	祭 り ば や し	10:00 ~ 15:00	福 生 公 園 内	福生はやし連合会
	ボ ー イ ス カ ウ ト	10:00 ~ 16:00	"	日本ボーイスカウト 福生第一団
	手 づ く り の 会	"	調理室・会館ロビー	福生手づくりの会
	レコードコンサート	13:30 ~ 15:30	視 聴 覚 室	C. M. S.
4 日 (土)	映 画 会	14:00 ~ 17:30	小 ホ ー ル	親と子のよい映画を見る会
	バ レ エ	17:00 ~ 20:00	大 ホ ー ル	栗林キミ子バレエ研究所
5 日 (日)	日 本 舞 踊	11:00 ~ 17:30	大 ホ ー ル	日本舞踊連盟
	三 曲 合 奏	12:00 ~ 16:00	小 ホ ー ル	福生三曲会
	レコードコンサート	13:30 ~ 15:30	視 聴 覚 室	C. M. S.
	市 民 囲 碁 大 会	10:00 ~ 17:00	第 6 ・ 7 集 会 室	日本棋院福生支部
11 日 (土)	民 謡	13:00 ~ 16:00	小 ホ ー ル	福生民謡連盟
	日本の歌・世界の歌	"	大 ホ ー ル	「小さな音楽会」実行委員会
12 日 (日)	バ レ エ	13:30 ~ 15:30	大 ホ ー ル	久保バレエ研究所
	日曜コンサートの夕べ	16:30 ~ 19:00	"	福生二中吹奏楽部
			"	親子演奏
			"	コールアンジェリカ
	市 民 小 劇 場	14:00 ~ 16:00	小 ホ ー ル	サークルななよん・ テアトルチキート